

青森県内の検診で初！

3D マンモグラフィ 導入

日本人に多い「デンスブレスト」

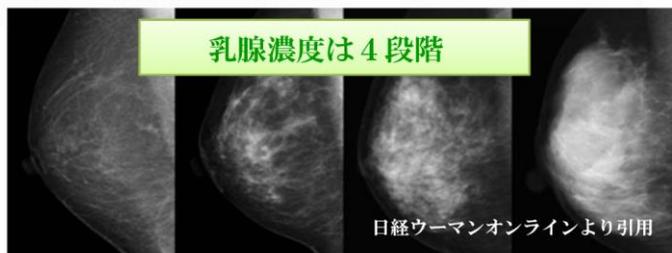
あなたの乳がん検診方法を見直しませんか？

3D画像の利点

比較的若い年齢層の女性は、乳腺が発達しており、マンモグラフィでは白く写るため、がんが見つかりにくい場合があります。

新しい3D画像では従来のマンモグラフィ画像では見えなかった組織がより鮮明に見えるようになり、今まで以上に精度の高い診断が可能となりました。

「デンスブレスト」とは、乳腺が濃く、エックス線画像上、白く写るタイプをいう。白く見える乳がんの病巣と見分けが付きにくいという特徴がある。



脂肪性 乳腺散在 不均一高濃度 高濃度
高年齢 ← 高濃度 → 若年

「デンス=濃い」「ブレスト=乳房」で、乳腺濃度（乳腺密度ともいう）の高い乳房のこと



Pink Ribbon

乳がん早期発見のために

日本では、乳がんにかかる女性が年々増えています。乳がんは、決して治りにくい病気ではなく、早期に発見できれば治せる病気です。

適切な検査を受けて自分の身を守りましょう。

当院は最新のマンモグラフィ検査、最新の超音波検査（腫瘍の硬さ評価）の併用で、乳がんの早期発見に努めています。

※ 両検査とも専門の女性技師が行っていますので安心して気軽に検診を受けられます。



マンモグラフィ（3D併用）、乳腺超音波検査 13,200円（税込）

お問い合わせ

公立野辺地病院 検診センター 0175-64-3211（内線315）